

# 交流会 ～ポッチャで熱戦～

宮前区地域教育会議では、今年度交流会として「ポッチャ大会」が2025年1月18日(土)市民館大会議室で行われ、各中学校区からの代表と運営委員会のメンバーなど30名が参加し、賑やかに熱戦が繰り広げられました。

「公益財団法人川崎市スポーツ協会」より職員3名(川崎市青少年の家 佐藤所長・朝野事業主任・張替職員)にお越しいただき競技説明や審判を務めて頂きました。

大会は、椿議長の挨拶に続き、審判からポッチャの解説とルール説明、審判団の見本試合が行われ、続いてイヌ・サル・ウサギ・カメなどを冠した10チーム(1チーム3名)がエントリーし、2面のコートで1試合2セットの試合が開始されました。当初は初体験に戸惑っていた参加者も慣れてくると熱を帯びて「テレビで見ると勝手が違う」という人や狙い通りに投球できてガッツポーズをとる人など次第にポッチャの面白さにとりつかれ、一投一投に歓声と拍手が飛び交っていました。



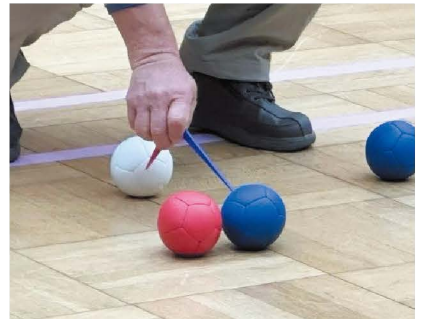
チームの3名はほぼ初顔合わせでしたが、密かに作戦会議を行ったり励ましあい、対戦チームとの交流も進められた大会となりました。

## ポッチャについて



パラリンピックの正式種目の一つで、年齢・性別・障がいのあるなしに関わらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツ。大きなお手玉に似た柔らかなボールを、的となるジャックボールにいくかに近づけるかを競う競技。体力技術に加え戦略性も要求される。

「ポッチャ」はイタリア語でボールのこと。比較的重い障がい者のために考案されたイタリア発のスポーツ。ボールは白(ジャックボール)1個、青6個、赤6個を使用。好みで柔らかくしたり固くしたりできる。規格は重さ275グラム±12グラム、外周270ミリ±8ミリ。材質は本革(牛革、羊皮、バックスキンなど)合皮などが主。個別に大きさや材質の異なる物を組み合わせても良い。



## 宮前区 8中学校区の紹介

<b>有馬中学校区</b>	有馬中学校、有馬小学校 鷺沼小学校、西有馬小学校	<b>野川中学校区</b>	野川中学校、野川小学校 南野川小学校、西野川小学校
<b>平中学校区</b>	平中学校、向丘小学校	<b>宮前平中学校区</b>	宮前平中学校、富士見台小学校 宮崎台小学校、宮前平小学校 土橋小学校
<b>犬蔵中学校区</b>	犬蔵中学校、白幡台小学校 犬蔵小学校	<b>菅生中学校区</b>	菅生中学校、菅生小学校 稗原小学校
<b>宮崎中学校区</b>	宮崎中学校、宮崎小学校 梶ヶ谷小学校、西梶ヶ谷小学校	<b>向丘中学校区</b>	向丘中学校、上作延小学校 平小学校、長尾小学校 南原小学校

# こみゅにけーしょん

## 宮前区地域教育会議

号数 64号  
発行日 2025(令和7年)3月発行  
宮前区地域教育会議 議長 椿 雅美  
事務局 宮前区宮前平2-20-4(宮前市民館内)  
電話 044-888-3911  
編集者 情報部

### 議長あいさつ



宮前区地域教育会議  
議長 椿 雅美

今年度の地域教育会議の活動も皆さまの多大なるご協力をいただき、無事に終えることができました。「教育を語るつどい」では現社会において日常となっている「インターネット」をテーマに行い、また「子ども会議」は青少年の家での焼きいも、「交流会」はポッチャ体験など、新たな試みも行いました。

地域教育会議の活動は「教育」「子ども」をキーワードに、子どももおとなも「社会教育」の観点から、楽しく学び合い、地域全体の豊かさを創造するという意味合いもあります。一緒に楽しく活動いただくメンバーも募集中です!!これからもどうぞよろしくお願いいたします。

### 運営委員会メンバー紹介

- 議長** 椿 雅美
- 副議長** 澁谷雅彦、石堂真喜
- 会計** 福武康 **事務局長** 小森清美
- 子ども部会** 部会長 吉田美幸、副部会長 松永さやか、宮下大志
- 研究部会** 部会長 佐藤加奈子、副部会長 大木かほ
- 情報部会** 部会長 池田のぞみ、副部会長 平子瀧夫



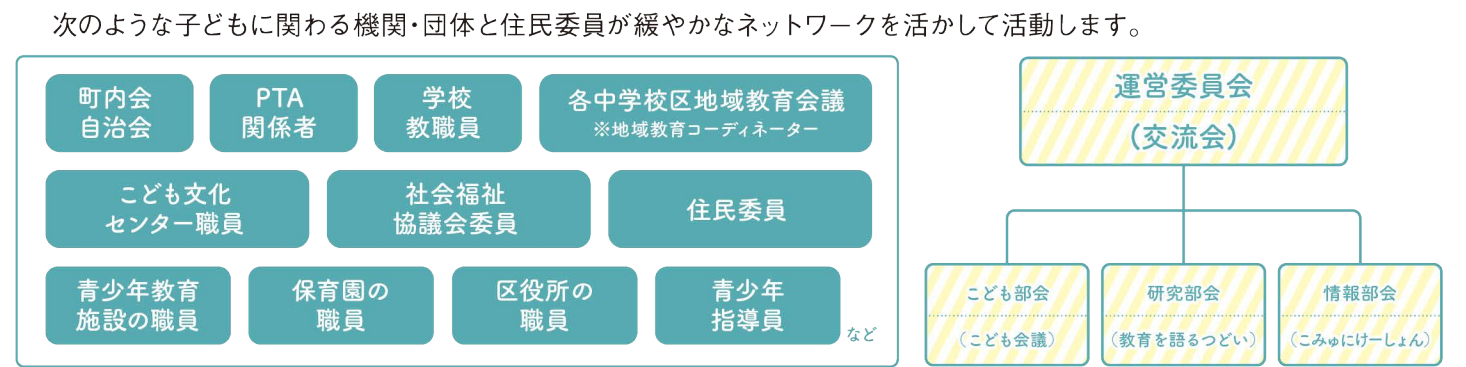
## 地域教育会議とは?

地域教育会議のめざすもの「子どもがいきいき育つまち、おとなも楽しく学べるまち」

### 行政区地域教育会議

行政区における子どもの豊かな成長の支援や生涯学習の推進を行う組織として、行政と地域の連携を進めながら、広く地域における教育活動を行っています。また、中学校区地域教育会議の支援と補完を行っています。

### 委員構成



## 住民委員 メンバー募集!

学校・地域・親・住民、様々な立場の人と一緒に、意見交換・活動してみませんか? この「こみゅにけーしょん」をご覧になってご興味を持たれた方はぜひご連絡ください。

宮前区地域教育会議 お問い合わせ 電話 **044-888-3911** FAX044-856-1436 (宮前市民館内 担当:徳原)

## 子ども会議 ～自分たちでできる防災活動～

冬休みを目前に控えた2024年12月21日(土)、【子ども会議】が川崎市青少年の家で開催されました。宮前区内の小学生4名、中学生6名、高校生3名、区役所からは齋藤区長や危機管理担当の職員なども参加し、「自分たちでできる防災活動」をテーマに、今回は話し合いだけでなく「焼き芋」を通じて子どもたちのつながりを深めようという新しい試みも加わりました。

開会のあいさつでは、椿議長から「子ども会議は子どもが思ったことを自由に表現するところです。初めて会う同士で緊張するかもしれないけど、正解や間違いはないので、話をしながら最後にはちょっとでも仲良くなっていたらうれしいです。」と話があり、子どもたちを和ませました。



### グループ討議

#### ① 大きな災害が起きたときに困ること・心配なこと

##### 付箋に書く・分類する

- 家族と合流できるかどうか・連絡がとれない
- 電気やガス、水、食料、生活物資の問題
- 衛生環境・トイレの問題
- ペットの避難はどうすればよいか?
- 避難所生活でプライバシーがなくなる
- 子どもの学校再開が後回しになる
- 生きるモチベーションが低下する

など

#### ② 解決するためのアイデア・対策

##### 集まった意見から考える

- 事前に家族と避難する場所を決めておく
- ハザードマップを見ておく
- 水・非常食・防災バッグの準備
- 孤立した避難所にドローンで物資を運ばないか
- 子どもには大人の人の助けが必要
- 子どもが元気に過ごすことが大人の復興への意欲につながるのではないか

など

#### ③ 発表



若い視点ならではのアイデアを出す柔軟性や、被災地のニュースを見て災害は生きるモチベーションを奪うことを感じた感受性、復興のために自分たちができることを真剣に考える主体性。それらを発揮しながら地域に暮らす人々のことを思い、防災について考える子どもたちの姿に、頼もしさと誇らしさを感じました。各グループの発表後、宮前区役所危機管理担当の戒田洋一郎氏から、話し合いで話題に挙がった意見や疑問に対するアドバイスをもらい、災害に備えることの大切さを学んでいました。

会議後にハザードマップや非常食クッキーをもらい、園庭に出た子どもたちを待っていたのは、ホクホクの焼き芋です。焼きたての焼き芋の味は格別で、子どもからも大人からもおいしさに驚く声が上がります。会議の前は緊張した面持ちの子どもたちも、焼き芋を頬張る頃には椿議長の言葉どおり、ちょっと打ち解けて仲良くなったようでした。そんな子どもたちの姿とおいしい焼き芋に、おなかも心もほっこりした子ども会議となりました。



### 子どもたちの感想

いろんな人と交流して私が思い浮かばなかった意見がたくさん出てきて、考えたりするのがとても楽しかった。初めて知ったことや、あらためて知ったことがたくさんあったので、家でお母さんともう一度話してみたいと思った。

あまり日常的にこのようなことを考えることがなかったなかで、地域での取り組みなど知らないことをいっぱい知ることができました。今回学んだことを日常生活でいかして、災害時などに対応できるようにしたいです。

### 講評

学校も年齢も違う子どもたちが、真剣に、和気あいあいと防災のことを話し合う様子を見て、それぞれが自分事として考え、しっかりとした意見をもってに感銘を受けました。また、防災の知識は学校で学んだとのことで、子どもたちの意識や課題認識も大人に負けておらず、大変心強く感じました。今回は貴重な機会をいただきありがとうございました。参加された皆さんのお話は、今後の防災対策に活かしていきたいと思えます。

宮前区役所 危機管理担当 戒田洋一郎様

災害が起きたときに心配なこととその改善策を話し合い、堂々と発表することができていました。初めて会ったメンバーでしたが、焼き芋が焼けて食べる頃には談笑する姿も見られ、子ども会議ならではの交流ができました。自分たちで解決策を考えてみたからこそ、危機管理担当の講師の方の情報をより真剣に受け止めることができ、子どもも大人も一緒に考える場になったと思います。

犬蔵小学校 校長 藤原由布子様(進行役)

## 教育を語るつどい ～インターネットの怖い話～

2025年2月2日(日)、【教育を語るつどい】が宮前市民館大会議室で開催されました。

今年は、身近にあり、生活に必要不可欠で、大勢の人が毎日利用している「インターネット」をテーマにした、「インターネットの怖い話～犯罪の加害者・被害者にならないために～」という講座がおこなわれました。講師には「NPO法人ICTメディア研究会おきらくごらく」より、春日有理沙氏にご担当していただきました。春日氏は、普及してから歴史が浅い「スマホ」や「インターネット」だからこそ、今日は大人と子どもと一緒に学ぶことができる機会と仰っていました。「怖いから使わない・使わせない」ではなく、リアルとネットが混ざり合うデジタル社会だからこそ、「怖さ」をしっかりと理解し、伝えることが非常に大切です。また、インターネットに関連した詐欺やSNSなどの「怖さ」を具体例とともに、トラブルに巻き込まれないための対処法を詳しく教えていただきました。

後半には、インターネットに関しての「困りごと」や「トラブルにあわないためにしている対応」をグループで話し合い、参加者の体験談など情報共有がある有意義な時間でした。

短い時間でしたが、非常にわかりやすいご講話をいただき、インターネットに対する正しい知識をつける機会となりました。



### 区長のコメント

春日先生の講話は実例を交えた内容が多く、大変勉強になりました。「リアル社会とネット社会は混ざり合っている」という言葉が印象に残っています。

参加者がグループワークを積極的に行う姿を見て、実際に顔を合わせて情報共有する事の必要性を実感することができました。今後、地域で取り組みを進めるにあたって、地域や家庭で話し合うなど、情報共有を大切にしていきたいと感じています。

宮前区長 齋藤正孝様



### 参加者の感想

身近な話で興味深い内容でした。講義を聞くだけでなく、グループで話し合いから、色々な方の困りごとや体験談、それに関する対処法が知れることができ、為になることが多かったです。

幸区より参加 匿名希望様

子 わかりやすいし、おもしろかった スライドわかりやすかった インターネットの詳しい知識がまなびたかった

親 ネット犯罪はテレビでとかで聞いていたけど、グループワークでは実際に犯罪にあわれた方のリアルなお話が聞けてより犯罪が身近なもの実感がありました。

犯罪などにあわない方法はよく耳にするけど、もし詐欺にあった時には生活安全課に連絡するなど、どうしたらいいかが聞けて為になりました。

知らないことより少しでも知ってる事がある方が対応もできるので、今回参加できてよかったです。

宮前平より親子で参加 須藤様